

◆日本災害復興学会準備フォーラム  
—被災地円卓会議&連続シンポジウム—

日時:2007年1月13日(土)14:00~17:00  
場所:関西学院大学学生会館新館・会議室9  
主催:関西学院大学災害復興制度研究所

1月13日、関西学院大のキャンパスで開かれた「被災地円卓会議」(被災地交流集会)に参加しました。この会議は阪神・淡路大震災が発生した1月17日の直前に開催されるもので、今年で3回目を迎えます。新潟県中越地震、三宅島噴火災害、阪神・淡路大震災、鳥取県西部地震の被災者や支援者が現状を報告しました。さらに、研究者・専門家やNPO・NGO関係者からも活発に意見が表明されました。

主催の関学大「災害復興制度研究所」は翌日14日にもシンポジウムを開催。会場となった神戸市中央区の兵庫県公館には、災害からの復興に関心を寄せる多くの識者や活動家が集まり、一年後をめぐりに「日本災害復興学会(仮称)」を設立することを確認しました。なお、14日のシンポジウムについては朝日新聞1月16日の朝刊で詳しく報道されたのでご参照ください。

(パネラー:池田啓一)



左端が池田さん

◆「13回忌市民追悼式」

日時:2007年1月17日(水)10:00~12:30  
場所:神戸市勤労会館(三宮)7階大ホール  
主催:「13回忌市民追悼式」実行委員会

震災から丸12年の1月17日のこの日、遺族の方にとっては13回忌に当たる節目を迎えました。『遺族の詞』をお聴きし遺族の方は何年経とうともあの日の哀しみは変わることなく今もお続けていることを改めて思い知らされました。全国津々浦々から14人の僧侶の方たちが駆けつけて、前日からのリハーサルや準備もお手伝いしていただきやと当日を迎えることが出来ました。程濃化さんの奏でる二胡と僧侶14人の声明による心の奥深く染み入る音の響きに会場に参列された全員が癒された素晴らしい音楽法要となりました。

主催の実行委員会メンバーは12年が経ち当然12歳年齢を重ねて高齢化し、動ける人がほとんどいなくなっていく中でも、これからも身の丈にあった追悼の集いを続けていきたいとの想いを最後に決意として表明し、心温まる13回忌市民追悼式を終えました。

(司会:岡部眞紀子)



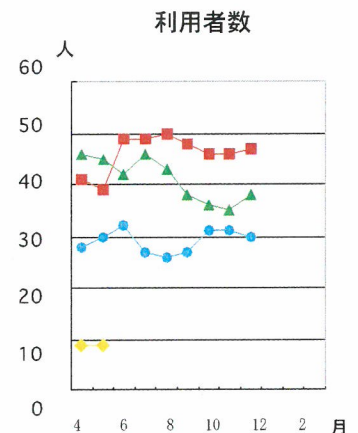
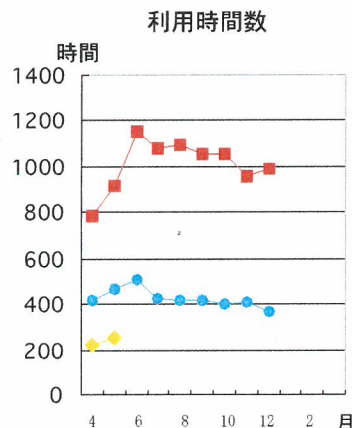
## 2006年度☆介護保険事業報告

- ★あ・し・す・と (垂水)
- ★あしすと武庫之荘 (尼崎)

●現在、2つの事業所を拠点に都市生活組合員が中心となってヘルパー派遣事業を行っています。(あしすと西宮は6/1をもって、あしすと武庫之荘と統合しました)

●武庫之荘では居宅介護支援事業(ケアプラン)、障害福祉サービス事業も行っています。

- 垂水
- 武庫之荘
- 西宮
- ▲居宅介護支援





国が介護の社会化を謳って丸5年が経ちました。そして、2006年度からは介護保険制度が改定され、介護予防の強化が新たに加わり、従来の訪問介護と介護予防訪問介護とに分かれました。

ところでみなさんは、毎月介護保険料をいくらお支払いなのでしょうか？徴収方法は年齢や就労しているかどうかで異なりますが、40歳以上の国民は全員徴収されています。65歳以上の年金生活の方も原則、年金から天引き（特別徴収）されます。義務だけ負って、サービスを利用出来るせっかくの権利を積極的に行使しないのは本当にもったいない。

腰痛や足痛で掃除が負担になっていたり、買い物に出掛けるのがおっくうになっていませんか？1週間に1回1時間半の手助けを受けてみましょう。高齢になり日常生活に不安を感じられている方も、少しの援助があれば在宅で快適に暮らすことが出来ます。

なお、介護予防というのは月額支払いになります。

1週間に1回の訪問(月に4回)は1,308円

1週間に2回の訪問(月に8回)は2,616円

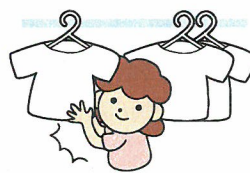
いずれも1時間半の生活援助が受けられます。生活援助とは、買い物・掃除・洗濯・調理など家事全般の援助をさします。もっとも、援助が必要なときは要支援の認定が必要になります。(ちなみに、1週間に訪問回数が1回あるいは2回になるかは介護度によって異なります。)認定を受けるための支援から、日常生活に不安を感じられている方のご相談にいたるまで、「あしすと」にお気軽にご連絡下さい。もちろん相談料は無料です。(理事:佐々木京子)

お問い合わせは

あしすと武庫之荘(尼崎市) ☎ 06-6433-8487

あ・し・す・と(神戸市垂水区) ☎ 078-755-1455

営業時間は各事業所とも 午前9時から午後5時です。お近くの事業所にお掛け下さい。



料理  
研修

あしすと武庫之荘で毎月1回行っている研修の報告です

12月は利用者さんとスタッフで夕食。おしゃれしてお出かけしました。

あしすと武庫之荘 佐々木京子

◆今までのまとめ

5月  
たけのこ  
づくし



6月  
ビュッフェ形式

7月  
高齢者向け  
調理

9月  
旬の食材  
秋の訪れ

10月  
秋を感じる



11月  
温っかおでん



インフォメーション

◆ NHK 土曜ドラマ「スロースタート」

1月27日(土)前編“NOのなかのYES”

2月3日(土)後編“はたらく理由”

午後 9:00~9:58

ニュースタート事務局が取り組んでいるひきこもり・ニートの若者への訪問活動をモデルにしたドラマ「スロースタート」が放映されます。

人はなぜ、働くのか。その問いの答えは、人それぞれだ。答えなどなくたっていい。ただ、生きることをあきらめないでほしい。人とつながることを、あきらめないで欲しい。このメッセージが、引きこもりやニートの人たちだけでなく、ドラマを観てくれたすべての人に、今、そこにいるあなたの心に届くことを、願っている。 脚本:浅野 有生子

※荒川龍著『レンタルお姉さん』を原案としたフィクションです。

◆ 積み木ワールドへようこそ

2月24日(土) 午前 10:00~12:00

積み木は遊んでいるだけでバランス感覚や微妙な力加減ができる感覚などの精神力や筋力が養えます。家では体験できない多くの積み木で親子一緒に遊びましょう。

会場:NPO法人都市生活コミュニティセンター (西宮市津門西口町7-3)

対象者:3歳以上の子どもとその保護者

募集人数:5組(募集多数の場合は抽選。確定後連絡します。) 参加費:300円

申込:NPO法人都市生活コミュニティセンター

電話 0798-36-6679 FAX 0798-36-5114

(詳しい内容は 生協都市生活組合員には生協都市生活配達便にて2月上旬にちらし配布予定)

主催:NPO法人都市生活コミュニティセンター